

共創のまちづくりのためのプラットフォームの活用を開始 ～市民参加型スマートシティを目指して実証実験を実施～

三田市は、市民参加型スマートシティを目指して、この度、共創のまちづくりのためのプラットフォーム「my groove」(以下「プラットフォーム」という。)を活用した取り組みに着手します。市民等が、プラットフォーム上で、時間や場所の制限を受けず、「できる時に、できる方法で」様々な取り組みに参加することや、活動している人を応援することのできる参加プロセスと仕組みをつくることで、まちづくりへの関心度を高めることを狙います。

本事業は、株式会社 Groove Designs (住所：東京都台東区、代表取締役：三谷 繭子、以下「Groove Designs」という。)の協力により、取り組みます。



プラットフォーム活用イメージ (株式会社 Groove Designs 資料より引用)

2 背景・意義

オンライン上で取り組み状況の可視化やアイデア募集、意見の投稿等を行うことができるプラットフォームを整備することで、多様な市民等が時間や場所の制限を受けることなく、まちづくりに関わることができるようにする市民参加型スマートシティの取り組みが国内外で行われています。(海外：スマートシティの取り組みで先行するスペイン・バルセロナ市やフィンランド・ヘルシンキ市、国内：兵庫県加古川市、他)

本市は、令和4年4月にさんだ里山スマートシティ構想を策定し、デジタル技術を活用した「市民参加型スマートシティ」の実現を目指しています。プラットフォームの活用を通じ、様々な取り組みや人との関わり・体験などを通じて「自分ごと」化し、行動変容につなげ、新たに関わる人を増やすことで、地域の活性化につなげることを狙いとします。

3 取り組み

- ・プラットフォーム上で複数のプロジェクトを取り扱います。
- ・なお、プラットフォーム上で意見投稿する場合は、ユーザー登録が必要です。

【具体的な実証実験】

①私のSDGs宣言キャンペーン（SDGs未来都市×スマートシティ）

- ・令和4年7月から実施している「私のSDGs宣言キャンペーン」について、プラットフォームの活用により、本市のSDGsの取組状況をオンライン上に可視化します。
- ・SDGsワークショップなどでSDGs宣言に既に参加している人の愛着や興味関心を高めることと、新たにSDGs宣言に参加しようと思う人を増やすことで、まち全体のSDGs機運醸成につなげることを狙います。

<プラットフォームで予定する取り組みの例>

- ・8/20ワークショップの開催報告
- ・SDGs宣言の紹介やSDGsに関する意見交換
- ・ワークショップの参加案内や開催報告、オンライン上でのアイデア募集や意見収集

②私たちが考えるサイエンスフェスティバル（こうみん未来塾×スマートシティ）

- ・令和5年度のサイエンスフェスティバルを、主催者（実行委員会）だけで決めるのではなく、参加者や出展者の意見を反映しながら企画立案します。
- ・サイエンスフェスティバルに対して、参加者や出展者の関心度を高めるとともに、新たに興味を頂く人を増やすことを狙います。

<プラットフォームで予定する取り組みの例>

- ・令和4年度サイエンスフェスティバル開催結果報告、参加者アンケートの紹介
- ・アイデア意見募集（どんなブースに参加したいか。何のブースをつくりたいか。）
- ・企画素案の公表と意見募集

4 スケジュール

令和4年10月21日頃 プラットフォーム公開

my groove さんだ (<https://sanda.mygroove.city>)
各プロジェクトについて順次取り組みを展開します。



5 その他

- ・本事業は、Groove Designs が採択された「令和4年度地域・企業共創型ビジネス導入・創業促進事業補助金（経済産業省）」を活用します。
- ・本事業はデジタルプラットフォームの実証ですが、デジタルツールをリアルな取り組みとどのように融合させ、より多様な参加を引き出していくかという検証のため、今回の取り組みによりプラットフォーム活用のノウハウを蓄積し、令和5年度の実装につなげていきます。